

融夢 (YUMU)

-アルカリ(セメント)排水用-

あるようでなかった アルカリ排水専用の中和剤!

無機系凝集剤メーカー(株)アクトが長年の実績と経験に基づいて提供する新しい中和剤「安全性と機能性へのこだわり!」

本製品は、安全性と機能性を追求した中和剤です。中和剤で主流の硫酸などは、劇物として取り扱いが難しく危険です。

しかし、本製品は作業者への安全性を配慮するとともに、中和剤としての強酸性機能を確保した商品です。



1L入り

使用も便利な
持ち手付容器



20Lサイズもあります

※下の写真はどちらも処理Bで行った場合です。



セメント洗浄水



水性塗料を含むモルタル洗浄水

アルカリ中和剤
「融夢」の特長

省コスト 経済的

少量の添加量で効果を発揮するため経済的です。
pH12.0の場合、2ml/ℓで中和完了。

劇物・危険物 非該当

作業者への安全性に配慮しています。手に触れても安全です。
※ただし、pH1.0以下のため正しい使用方法を守ってください。

高速中和

処理時間は1~2分程度で中和処理可能。
液体品のため反応が早く作業者への処理負担を軽減。

◆使用方法

【処理A】セメント・モルタルなどの洗浄水の場合(中和のみを目的とする場合)

処理状況(透明度・pH値等)確認後、適正に処分して下さい



【処理B】セメント・モルタルに加え水性塗料などが混入している場合(セメント等浮遊物や色も除去したい場合)



アルカリ中和剤「融夢」添加量の目安

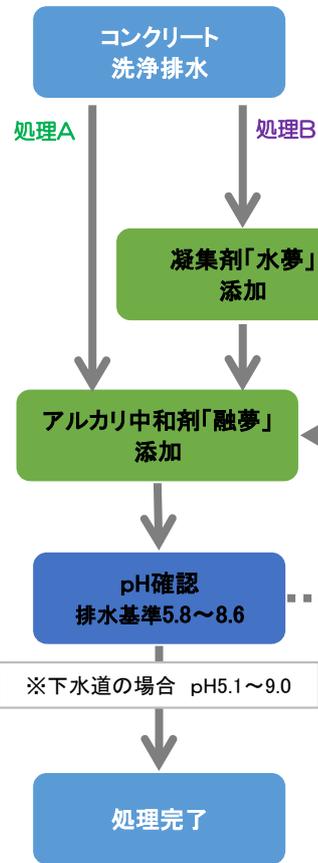
pH	10.0以下	10.1~11.0	11.1~11.5	11.6~12.0	12.1以上
添加量	0.2ml/ℓ (0.2ℓ/m ³)	0.5ml/ℓ (0.5ℓ/m ³)	1.0ml/ℓ (1.0ℓ/m ³)	1.5ml/ℓ (1.5ℓ/m ³)	2ml/ℓ (2.0ℓ/m ³)

※アルカリ濃度(セメント等含有量)によっても変わります。上記表は目安として運用し、放流前には必ずpH測定を行い確認してください。

アルカリ中和剤「融夢」使用方法 -アルカリ(セメント)排水用-

★「アルカリ中和剤」は、pH1.0以下のため正しい使用方法を守ってください。

◆処理フロー



* 処理A 中和処理のみを必要とする場合

[処理対象水(セメント・モルタルの洗浄水等)に粒子を含まない場合や、粒子の分離を必要としない場合]

* 処理B 中和処理に加え、色や濁りを除去したい場合

[アルカリ排水(セメント・モルタル等)中の粒子を早く沈降分離させたい場合や、処理対象水に水性塗料などが混入している場合]

凝集剤で浮遊物等を凝集分離させます

pH値を測定し、下記「添加量目安表」より添加量を算出

pH値が目的数値に満たない場合は、再度下記「添加量目安表」より必要添加量を投入

pH値が目的の排水基準をクリアしているのを確認し、固形物を分離して放流

◆処理写真

処理Bで行った場合



処理前



処理後

アルカリ中和剤「融夢」添加量目安表

pH	10.0以下	10.1~11.0	11.1~11.5	11.6~12.0	12.1以上
添加量	0.2ml/ℓ (0.2ℓ/m ³)	0.5ml/ℓ (0.5ℓ/m ³)	1.0ml/ℓ (1.0ℓ/m ³)	1.5ml/ℓ (1.5ℓ/m ³)	2ml/ℓ (2.0ℓ/m ³)

※上記表における添加量は、含有する成分(セメント等)の濃度によっても変わりますので、目安として運用し、放流前には必ずpHを測定し確認してください。

処理方法(例)

<「処理B」の場合> ※処理Aの場合は、手順③から開始してください。

- ① 処理したい排水に「水夢」を粉末のまま添加します。
- ② 2~3分程度よくかき混ぜ、浮遊物を凝集させます。
- ③ 排水pH値を測定します。
- ④ 上記、添加量目安表を参照し、アルカリ中和剤「融夢」を計量します。 → 測定値:pH11.5の場合、添加量:1.0ml/L
- ⑤ 計量したアルカリ中和剤「融夢」を、添加します。
- ⑥ 30秒~1分程度、全体に行きわたるよう攪拌します。
- ⑦ pH値を確認し、目的の排水基準をクリアしていれば、処理完了。固形物を分離し、放流します。

【水夢添加量(参考)】

- セメント粒子等の浮遊物を除去する場合 0.5~2g/L
- 水性塗料等を含んだ排水を処理する場合 4~5g/L

※ 手順⑦でpH値が排水基準値に達していない場合は、手順④に戻り、再度同様の作業を行ってください。
その場合、手順⑦で確認したpH値に応じた添加量とします。 → 測定値:pH10.2 であれば 添加量:0.5ml/L